

第6学年 英語科 単元指導計画 (JUNIOR TOTAL ENGLISH2)

L.3 日本の祭り What festival do you want to see?

【単元の目標】

相手に自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく分かったりするために、見たい祭りやしたいことなどについて伝え合うことができる。また、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を読んで意味が分かる。

【単元の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り) 第6時 第8時	<p><知識> 見たい祭りを尋ね合う、What festival do you want to see? I want to see ~. やしたいことを伝える表現について理解している。</p> <p><技能> 見たい祭りについて、What festival do you want to see? I want to see ~. やしたいことを伝える表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手が見たい祭りやしたいことについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手が見たい祭りやしたいことについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>
読むこと 第8時	<p><知識> 見たいものを伝える、I want to see ~. の表現について理解している。</p> <p><技能> 見たいものについて、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>相手の見たいものについてよりよく理解するために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を読んで意味が分かっている。</p>	<p>相手の見たいものについてよりよく理解するために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を読んで意味を分かろうとしている。</p>

※本単元における「聞くこと」及び「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

【単元のゴール】

見たい祭りやしたいことなどについて、伝え合うことができるようになる。

見たいものについて書かれた英文を読んで、意味が分かるようになる。

	内容 C:Child A:ALT H:HRT	評価規準
第 1 時	<p>○Song「London Bridge」1、2、3番 ★初出部分の指導例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2、3番の音源を一度聞かせる。(聞こえた音声でリピートをさせるために、歌詞や絵など、視覚情報は提示しない。) ・ALTまたはHRTが歌って聞かせる。その際、以下のステップを踏む。 <p>①単純に歌う。</p> <p>②歌詞のガイドとなる線を黒板に書きながら、ゆっくり歌う。 単語は書かない。</p> <p>③線をたどりながら歌う。→黒板ではなく、タブレットに書いてもよい。(長い曲なので、書いたものを残しておく、今後も活用することができる。黒板に書く場合は、写真に撮っておくと活用しやすい。)</p> <p>④以下のような発問を通して、繰り返し聞かせる。なお、繰り返し聞かせることが目的のため、黒板上のガイド線を全て埋めさせるような指導は行わない。</p> <p><聞かせる活動></p> <p>※曲中の単語の繰り返す回数や位置を意識させることで、全体の音を捉える。</p> <p>H: What did you hear? C: ロンドンブリッジと聞こえました。(日本語の発音で答えている。)</p> <p>H: Then, if you hear “ロンドンブリッジ”, raise your hand. ・線をたどりながら、London Bridge の英語らしい音を強調してもう一度聞かせる。</p> <p>H: Sorry, there is no “ロンドンブリッジ” in the song. ・線をたどりながら、London Bridge の英語らしい音を強調してもう一度聞かせる。</p> <p>H: What did you hear? C: London Bridge と聞こえました。</p> <p>H: Then, if you hear “London Bridge”, raise your hand. ・線をたどりながら聞かせる。</p> <p>H: How many times did you hear “London Bridge”? ・児童が心の中で数えられるように、少し間をおく。</p> <p>H: (手を挙げる動作をしながら) Once, twice, three times… OK, let’s count. ・線をたどりながら聞かせる。</p> <p>H: twice</p>	<p>※単元導入期のため、本時は記録に残す評価は行わない。</p>

- ・発問しながら音声を聞かせる活動の後、デジタル教科書の絵だけを映し、視覚で情報を補いながら聞かせる。
- ・その際、先ほどのガイドラインを使って、絵に表れている言葉が、どのタイミングで聞こえるかを児童と確認する。
(これまでに触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして音と意味を結び付けながら行う。歌詞は表示しない。児童が歌えている所、歌えていない所がどこかを見つけながら行うこと で十分に聞かせられていない部分の確認に役立つ。
- ・児童と一緒に歌う。
- ・1 番を歌い終わったら、HRT は、そのまま続けて 2、3 番を歌う。1 番と同様に言語活動を通して繰り返し聞かせる。

○Scene p.42,43

【扱う音声】

Oh, we can see many beautiful Tanabata decorations. ～
(Emma と Anna の会話)～He is very happy.

- ・場面絵を Meet で児童のタブレットに画面共有し、会話に関係のある箇所に円を描くなどしながら聞かせることで、音と意味を結び付けながら聞かせる。

○Let's Listen A p.44

【手順】

- ①場面絵を見せながら音声を聞かせる。(分かる単語が聞こえたときには、絵を指で示させる。)
- ②さらに字幕を追加して聞かせる。
- ③声に出して言うように促す。

- ・字幕を見せて、聞こえた音や話している音が英文の中でどのような発音になっているか、アクセントがどこについているか、語数などを確認する。

○Let's Chant A p.44

- ・Meet で画面共有をし、デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵と字幕を見せながら聞かせる。
- ・リズムに乗って声に出すように促す。(全部、号車、3人で分けて、教師と児童で分けて、一人ずつ自分のことに変えて)

○Scene A p.42,43 (再)

- ・Meet で画面共有をし、デジタル教科書のアプリを使用して、場

	<p>面絵と字幕を見せながら聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen や Let's Chant を行った後のため、学んだ表現が聞き取れた場合には、価値づけを行う。 <p>○<u>振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4分間書き続けるように促す。 ・ 個別指導を行う。(単元のゴール、学びの地図、振り返りのポイントを意識させる。) ・ 1、2名の児童に振り返りを発表させる。 <p>○<u>次時への動機づけ</u></p>	
第2時	<p>○<u>Song 「London Bridge」 4、5番</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞カードの絵を見せながら、誘うように歌う。 (第1時で触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして、音と意味を結び付けながら行う。歌詞は表示しない。) <p>○<u>Activity A①p.44</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誌面のイラストの語彙を導入した上で行う。 What do you see in the picture? で児童に尋ねても良いし、HRTが指で指し、What's this?で誘導しても良い。 ・ 話をしている人を示しても良いし、話した順番で1～6を書かせても良い。 ・ Activity A①のイラストを部分的に見せ、そのイラストに合う台詞を英語で言う。気持ちを込めて言うことに気を付ける。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【行い方の例】</p> <p>H: Let's try, everyone! People in these lines, please stand up. H: ~ (児童の名前) . (イラストを提示する。)</p> <p>C: It's fantastic. / It's wonderful. / It's delicious. / It's interesting. / It's scary. / It's exciting. 等</p> <p>T: 児童の発言を復唱する。(気持ちを込めて言うことに気を付ける。)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとり繰り返す。 <p>○<u>Activity A③p.45</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指示文を読む。 ・ 見本の動画を再生する。 	※単元導入期のため、本時は記録に残す評価は行わない。

- ・ペアを変えながら取り組ませる。(一個ずれた状態から始めさせる。児童の会話を聞きに行き、エラーの修正を行う。)
- ・最後に、自分の席に戻り、隣の人と会話をする様子を動画に撮る。(データを提出させる。→別の時間)

○Activity A④p.45

(1) Sounds & Letters

- ・ジングルを再生する。(声を出さずに聞くことに集中するよう伝える。)
- ・ALT の音を真似して出すように促す。(単語のみ)
- ・発音の仕方に触れる。(/k/ は舌の奥を上あごの奥につけて、舌を急に離して発音する。有声音の /g/ と比べる。 /l/ は舌先を上の前歯の裏に付け、舌の両側の隙間から息を出して発音する。舌先を丸める /r/ と比べる。あまり深追いせず、触れる程度で。)
- ・もう一度ジングルを再生し、真似するように促す。

(2) Reading / Writing

- ・ALT の声に合わせて指で追わせる。
- ・なぞってから書き写すように促す。(語と語の間にスペースがあること、最後にピリオドがあることに気づかせる。)

○単元のゴールの提示

- ・HRT と ALT が単元のゴールの姿を見せる。(以下、例)

H: What festival do you want to see?

A: I want to see the Awa Odori Dance. What festival do you want to see?

H: I want to see the Nebuta Festival.

H: 今回は、もう一つゴールがあります。(Shaggy's Story を読んで意味を理解した様子をジェスチャーで表現する。)

- ・単元のゴール (見たい祭りやしたいことなどについて、伝え合うことができるようになる。見たいものについて書かれた英文を読んで、意味がわかるようになる。) を紹介する。

○学びの地図の提示

- ・単元のゴールに向けた道のり (できるようにすること) を意識させる。
- ・今回の授業で該当する箇所について触れる。

	<p>○<u>振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時と同様。 <p>○<u>次時への動機づけ</u></p>	
第3時	<p>○<u>Song 「London Bridge」 1～7番</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5番までを、歌詞カードの絵と歌詞を見せながら、誘うように歌う。(第1時で触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして音と意味を結び付けながら行う。) ・6番と7番を聞かせる。(第1時同様) ・言語活動を通して繰り返し聞かせる。(What did you hear? / How many times did you hear ~?) H:では、歌えそうな所はご一緒に。 ・児童と一緒に歌う。 <p>○<u>Scene p.42,43</u></p> <p>【扱う音声】</p> <p>Oh, we can see many beautiful Tanabata decorations. ~ (Emma と Anna の会話)～ (Saki と Neil の会話)～ I want to be an astronaut.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面絵を Meet で画面共有し、会話に関係のある箇所を示す。 ・音と意味を結び付けながら聞かせる。 ・1回目に聞いたときよりも聞こえる音が増えたり、意味が分かるようになったものがあったりすることを意識させる。 ・第1時の続きの部分の部分を聞かせることで、新出フレーズを意識させる。 <p>○<u>Let's Listen B p.46</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Meet で画面共有をし、デジタル教科書のアプリで行う。 <p>【手順】</p> <p>①場面絵を見せながら音声を聞かせる。(分かる単語が聞こえたときには、絵を指で示させる。)</p> <p>②さらに字幕を追加して聞かせる。</p> <p>③声に出して言うように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵を見せながら聞かせる。 ・言語活動を通して、繰り返し聞かせる。(以下、例) <p>H: How many times did you hear "I want to"? (児童が考える間</p>	<p>※本時は記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>をとる。)</p> <p>H: Once, twice, three times, … Let’s count.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞かせる。 <p>H: Twice. Then, if you hear “I want to”, raise your hand.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞かせる。 <p>H: Sakiさんは、何を見たいと言っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞かせる。 <p>C: Milky Way と言っていました。</p> <p>H: How do you say “Milky Way” in Japanese?</p> <p>C: ?</p> <p>H: Milky Way is … (画像を見せる。)</p> <p>H: Nielさんは、何になりたいと言っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞かせる。 <p>C: astronaut と言っていました。</p> <p>H: How do you say “astronaut” in Japanese?</p> <p>C: ?</p> <p>H: Astronaut is … (画像を見せる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声に出して言うように促す。(全部、号車で分けて、3人で分けて、教師と児童で分けて、等) <p>○Let’s Chant Bp.46</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Meet で画面共有をし、デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵と字幕を見せながら聞かせる。 ・リズムに乗って声に出すように促す。(全部、半分の児童で分けて、ペアで分けて、教師と児童で分けて、等) <p>○Scene p.42,43 (再)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Meet で画面共有をし、デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵と字幕を見せながら聞かせる。 ・Let’s Listen や Let’s Chant を行った後のため、学んだ表現が聞き取れた場合には、価値づけを行う。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時と同様。 <p>○次時への動機づけ</p>	
第4	<p>○Song 「London Bridge」 3、4番</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞カードの絵と歌詞を見せながら、誘うように歌う。(これま 	※本時は記録に残す評価は行わな

時	<p>でに触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして音と意味を結び付けながら行う。)</p> <p>○Activity B① (2) p.46 H: クラスの友達が、祭りでしたいことを言っています。よく聞きましょう。 ・ Activity B① (2) の音声を再生する。 ・ HRT と ALT で会話をする。 H: How about you, Sonia? A: I want to ~. How about you, ~(HRT)? H: I want to ~. How about you, everyone? People in these lines, please stand up. H: ~ (児童の名前) . C: I want to ~. H: Oh, you want to ~. I want to ~. I see. ・ 一人ひとり繰り返す。</p> <p>○Activity B②p.46 ・ 指示文を読む。 ・ 見本の動画を再生する。 ・ ペアを変えながら取り組ませる。(一個ずれた状態から始めさせる。児童の会話を聞きに行き、エラーの修正を行う。) ・ 最後に、自分の席に戻り、隣の人と会話をする様子を動画に撮る。(データを提出させる。→別の時間)</p> <p>○Sounds & Lettersp.46,47 ・ ジングルを再生する。(声を出さずに聞くことに集中するよう伝える。) ・ ALT の音を真似して出すように促す。(単語のみ) ・ 発音の仕方に触れる。(/m/ は唇を閉じたまま、鼻から音を抜いて発音する。 /n/ は口を少し開けることがポイント。舌先を上歯茎の付け根に付けて、鼻から音を抜いて発音する。唇がしっかりついている /m/ と離れている /n/ という 2 つの違いを意識させる。あまり深追いせず、触れる程度で。) ・ もう一度ジングルを再生し、真似するように促す。</p> <p>○Activity B③p.47</p>	い。
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ALT の声に合わせて指で追わせる。 ・ ALT が言った単語を指でさす。(eat, want, corn) <p>○Activity B④p.47 Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALT が読む。 ・ なぞってから書き写すように促す。(語と語の間にスペースがあること、最後にピリオドがあることに気づかせる。) <p>○Activity B① (1) p.46</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスニングテストを行う。Activity B①(1)を基にしたワークシートを使用する。 <p>○学びの地図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の授業で該当する箇所について触れる。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1時と同様。 <p>○次時への動機づけ</p>	
第5時	<p>○Song 「London Bridge」 5、6、7番</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5、6、7番まで、歌詞カードの絵と歌詞を見せながら、誘うように歌う。(これまでに触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして音と意味を結び付けながら行う。) ・ 歌詞カードを配り、HRT が言った言葉に線を引かせる。(falling down / wood and clay / wash away / bricks and mortar / will not stay) 一つの言葉を引かせるごとに、その言葉が出てくる番を歌う。音と意味、文字を結び付ける。 ・ 一緒に歌うように促す。 ・ 歌詞カードを配り、() の中をうめさせる。 (falling down / wood and clay / wash away / bricks and mortar / will not stay) ・ 歌う。(児童は、自分が書いた所だけを歌う。) <p>○Scene p.42,43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞かせる。場面絵を Meet で画面共有し、会話に関係のある箇所を示す。音と意味を結び付けながら聞かせる。2回目に聞いたときよりも聞こえる音が増えたり、意味がわかるようになった 	※本時は記録に残す評価は行わない。

たものがあったりすることを意識させる。
・時間があれば、その他のシーンを扱う。

○Let's Listen C p.48

- ・デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵を見せながら聞かせる。
- ・言語活動を通して、繰り返し聞かせる。(以下、発問例)
How many times did you hear "beautiful"?
Jones 先生は、何を見たいと言っていましたか。
Chika さんは、何を見たいと言っていましたか。
- ・声に出して言うように促す。(全部、半分の児童で分けて、ペアで分けて、教師と児童で分けて、等)

○Let's Chant C p.48

- ・デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵を見せながら聞かせる。
- ・リズムに乗って声に出すように促す。(全部、半分の児童で分けて、ペアで分けて、教師と児童で分けて、等)

○Activity C①p.48

- ・リスニングテストを行う。Activity C①を基にしたワークシートを使用する。

○Scene p.42,43 (再)

【扱う音声】

Yes, Neil wants to be an astronaut.~ (Ms. Jones と Chika の会話)~There are many festivals in Japan! What festival do you want to see?

- ・Meet で画面共有をし、デジタル教科書のアプリを使用して、場面絵と字幕を見せながら聞かせる。
- ・Let's Listen や Let's Chant を行った後のため、学んだ表現が聞き取れた場合には、価値づけを行う。

○振り返り

- ・第1時と同様。

○次時への動機づけ

<p>第 6 時</p>	<p>○Song「London Bridge」 8、9、10番</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを見せながら、誘うように歌う。(これまでに触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして音と意味を結び付けながら行う。) <p>○Activity C② (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Activity C② (1) に取り組ませる。 <p>H: Emma はどんな祭りを見たいとっていましたか。 C: Nagasaki Kunchi Festival. H: That's right. Neil、Tsubasa、Daisuke についても同じように行う。</p> <p>○Activity C③p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会話例の動画を視聴する。 ○ペアで会話をする。 <p>C1: What festival do you want to see? C2: I want to see ~. What festival do you want to see? C1: I want to see~.</p> <p>○Activity C④p.49</p> <p>(1) Sounds & Letters Sounds & Letters に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ALT の真似をして言う。 <p>(2) Reading / Writing</p> <p>H: Sonia 先生の声をよく聞いて、英文を指で追いましょう。 A: What festival do you want to see? ・ HRT は、児童が正しく英文を指で追っているかを確認する。 H: What festival do you want to see?をなぞってから、書き写しましょう。 ・ HRT と ALT は、児童が正しく書けているかを確認する。 ・ 語と語の間にスペースがあること、最後にピリオドがあることに気づかせる。</p> <p>○学びの地図</p> <p>H: 単元のゴールへの道のりを、学びの地図で確認しましょう。 今日は、見たい祭りについて、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりしました。</p>	<p>や〈思判表〉</p> <p>自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手が見たい祭りやしたいことについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p><動画・行動観察> や〈主〉</p> <p>自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分や相手が見たい祭りやしたいことについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> <p><動画・行動観察></p>
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールに向けた道のり（できるようにすること）を意識させる。 ○<u>振り返り</u> ・第1時と同様。 ○次時への動機づけ H: 今日は、見たい祭りをたずね合いました。次回の EL がこの単元の最後です。単元のゴールが達成できるように、選択学習等を通して理解を深めていきましょう。 	
第7時	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>Song 「London Bridge」 1 1、1 2 番</u> ○<u>Scenep.42,43</u> ・聞かせる。場面絵を Meet で画面共有し、会話に関係のある箇所を示す。音と意味を結び付けながら聞かせる。(最初は聞こえなかった音が、聞こえるようになっていくかもしれない。それを感じながら、よく聞いてほしいということを伝える。) ○<u>Activity C⑤</u> p.49 ○<u>Alphabet Corner</u> ○<u>選択学習の計画</u> ・ワークシートをもとに、自分の学習状況を振り返らせ、課題を決めさせる。 ○<u>選択学習</u> ・選択学習に取り組む。 ○<u>Use & Check ①</u> ・リスニングテストを行う。Use & Check ①を基にしたワークシートを使用する。 ○<u>振り返り</u> ・4分間書き続けるように促す。 ・個別指導を行う。(単元のゴール、学びの地図、振り返りのポイントを意識させる。) ・1、2名の児童に振り返りを発表させる。 	

	<p>○<u>次時への動機づけ</u></p>	
<p>第 8 時</p>	<p>○<u>Song</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞カードの絵と歌詞を見せながら、誘うように歌う。(これまでに触れたことを想起できるように行う。絵を指し示したり、ジェスチャーで表現したりして音と意味を結び付けながら行う。) <p>○<u>Use & Check ②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアを変えて行わせる。 <p>○<u>Use & Check ③</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組ませる。(単語と単語の間にスペースがあることを指導する。) <p>○<u>Use & Check ④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーディングテストを行う。 <p>○<u>学びの地図</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の授業で該当する箇所について触れる。 <p>○<u>振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分間書き続けるように促す。 	<p>や〈知〉 見たい祭りを尋ね合う、What festival do you want to see? I want to see ~.やしたいことを伝える表現について理解している。</p> <p>や〈技〉 見たい祭りについて、What festival do you want to see? I want to see ~.やしたいことを伝える表現等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p><動画・行動観察></p> <p>読〈知〉 見たいものを伝える、I want to see ~.の表現について理解している。</p> <p>読〈技〉 見たいものについて、音声で十分に慣れ親しん</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を行う。(単元のゴール、学びの地図、振り返りのポイントを意識させる。) ・1、2名の児童に振り返りを発表させる。 	<p>だ語句や表現で書かれた文を読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p> <p><リーディングテスト></p> <p>読〈思判表〉</p> <p>見たいものについて、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を読んで意味が分かっている。</p> <p><リーディングテスト></p> <p>読〈主〉</p> <p>見たいものについて、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた文を読んで理解しようとしている。</p> <p><リーディングテスト・行動観察></p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------